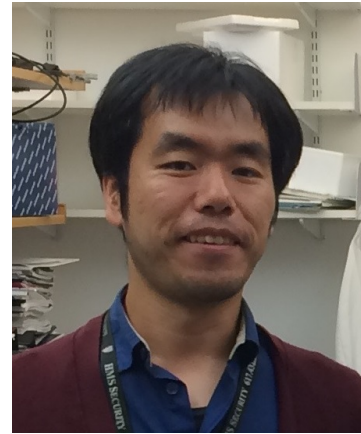


徳島大学研究クラスター講演会

- ◆ 選定クラスター「要介護リスクを高める骨粗鬆症・関節リウマチにおける骨代謝制御機構とその破綻のエピゲノム解析」
(代表：歯学域 口腔顎顔面矯正学分野 井澤 俊)

永野 健一 博士

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
(歯学系) 細胞生物学分野 助教



■ 日時：平成30年 **12月13日** 木 16:30~18:00

■ 場所：徳島大学歯学部4F 示説室

“The Wnt agonist R-spondin 3: an unexpected negative regulator of bone formation”

R-spondin 3 (Rspo3) は細胞外に分泌される糖タンパクで、in vitro においてWnt/ β -cateninシグナルを活性化することが報告されている。Wnt/ β -cateninシグナルは器官発生や恒常性維持に深く関与し、特にその活性化は骨形成を亢進することで骨量増加に寄与することが知られているが、骨恒常性におけるRspo3の役割は明らかではない。そこで我々はin vivo、in vitro の系を用いた機能解析を行ったところ、予想に反してRspo3が骨恒常性に対して抑制的に作用している興味深い知見を得られたので紹介する。本研究成果は主に演者の留学先であるHarvard School of Dental Medicineにて得られたもので、本講演では併せて海外研究留学の魅力についても紹介したいと考えている。

* 本講演会は、大学院特別講義を兼ねています。大学院生の皆様も、ぜひご来聴ください。



連絡先：口腔顎顔面矯正学分野 井澤
tizawa@tokushima-u.ac.jp (5291)